

—最近の歯科治療のトピックス—

①手技や創傷処置の変遷 ②併発症・トラブルとその対応

開業医の先生は日々、多数の抜歯や歯周外科、インプラントなどの手術をされています。歯科治療には医療事故も生じます。医療事故とは、「医療に関わる場所で、医療の全過程において発生するすべての人身事故(患者だけでなく、医療者も含まれる。)」を指します。すなわち、医療事故には、医療従事者に責任がある事例も、ない事例も含まれます。医療機関側に明らかに過失がある場合は、医療過誤になります。患者さん側に損害が生じれば、賠償責任が生じます。その中で、合併症、併発症、偶発症は紛らわしい用語です。最近、日本歯科医師会では、合併症は「ある病気が原因となって起る別の病気」、併発症は「手術や検査等の後、それらが元になって起こることがある症候あるいは事象」、偶発症は「手術や検査等の際、偶然に起こった症候あるいは事象で、因果関係がないか、不明なもの」と用語を整理しました。

個人の歯科医院ではそのようなトラブルに遭遇することは少なく、そのため実際に遭遇した時には十分に対処できないことも多いと思います。緊急事態に備えて、どのような併発症・トラブルが起こりうるのかを知っておくことは重要です。私共が経験したトラブルを紹介させて頂き、それに対する対処法・予防法について私の考えを述べさせて頂きます。

また、以前は当たり前だと信じられていた治療法や術式で、最近、考え方が180°変わった点(手洗いの仕方、器具や創の消毒の仕方、創傷処置、ビスフォスフォネート製剤服用中や抗凝固療法中の患者への対応など)が多数ありますので、これらについてもお話したいと思います。

- 記
- ❖ 日時: 20年7月25日(土) 19:30~20:40
 - ❖ 講師: 宮本 洋二先生
(徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔外科学分野教授)
 - ❖ 座長: 三宅 実先生(香川大学医学部歯科口腔外科学講座教授)
 - ❖ 会場: 香川県社会福祉総合センター
(高松市番町1-10-35)
 - ❖ 参加費: 会員・スタッフ 無料 未入会 10,000円
 - ❖ 定員: 40名(先着順)



【略歴】

昭和58年 徳島大学歯学部卒業
昭和62年 徳島大学大学院修了、歯学博士
昭和62年 徳島大学助手
平成4年 徳島大学講師
平成15年 秋田大学教授
平成19年 徳島大学大学院教授
平成31年 徳島大学歯学部長

2020年7月25日(土)医科歯科合同セミナー申込用紙

お申込みは香川県保険医協会へfaxください fax 087-802-1336

医院名	ご氏名	
ご住所	TEL	fax